

参考様式第2号 (表)

調査研究活動記録票

会派名 新政会

活動名	北海道視察	使途 項目	・調査研究費 ・研修費
日程	平成29年7月31日(月曜) ~ 平成29年8月2日(水曜)		
場所等	北海道 釧路市、根室市、石狩市、夕張市		
参加議員 人数・氏名	5人	木島信秋、辻泰久、川上浩、中村裕一、小柳勇人	
目的・ 内容・ 成果	目的 黒部市が計画中の図書館建設に向け、複合施設や民間資本を活用した図書館等の先進地視察、及び、夕張市が財政破綻からの現状を現地視察すること		
	内容 釧路市 図書館視察(民間ビルに賃貸で入居、国の補助金メニュー活用事例) 石狩市 図書館・子育て施設視察 夕張市 財政破綻から学ぶ地方自治(夕張市議会との意見交換)		
	成果 別紙参照		

経費内訳

単位:円

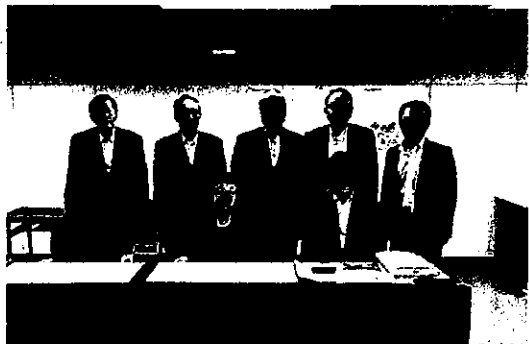
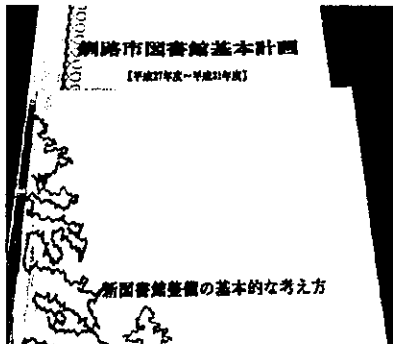
整理 番号	月日	支出内容	金額
1-3-1	5/25	交通費 航空券 5名 合計4回搭乗	356,400円
1-3-2	7/26	土産代 3カ所(釧路、石狩、夕張)	10,020円 /
1-3-3	7/31	宿泊費 根室市	43,300円 /
1-3-4	8/1	宿泊費 札幌市	52,000円 /
1-3-5	8/1	レンタカー 釧路空港~根室中標津空港	20,574円 /
1-3-6	8/2	レンタカー 新千歳空港~石狩市~夕張市~新千歳空港	20,505円 /
1-3-7	8/2	移動費 高速代 合計3回	2,840円 /
	合計		505,639円 /

平成 29 年度北海道視察 訪問報告

目的： 釧路市 図書館視察（民間ビルに入居した賃貸型の新図書館）
 根室市 根室市政60周年記念式典参加
 石狩市 子育て支援施設が併設された図書館視察
 夕張市 財政破綻した地方自治体の現況
 実施日： 平成29年7月31日 ～ 平成29年8月2日
 参加者： 川上浩、辻泰久、木島信秋、小柳勇人、中村裕一 以上5名

7月31日

時間	内容	詳細
14:00	釧路市役所	市立釧路図書館 建設・施設概要について説明

釧路市 市立釧路図書館 建設計画について	
 <p>釧路市役所 第一委員会室</p>	 <p>釧路市 図書館計画</p>
<p>昭和48年開館の図書館を新設し、民間が建設する駅前の10階建てビルの3～7階部分に入居予定で、家賃は月額で平米8900円、約1400万円と想定していた。計画としては、国の補助メニューを活用している。運営方法は、指定管理者制度を予定していた。また、急きょビルに入居することになったこと、専用の建物を支持する市民からの声も多く、説明をするために、図書館建設計画専用の市民説明会も開催していた。専用建物ではなく、民間ビルへの入居する要因は、財政面で優遇なことと、図書館計画にあたりスピードをもって進める好機だと説明を受けた。</p>	

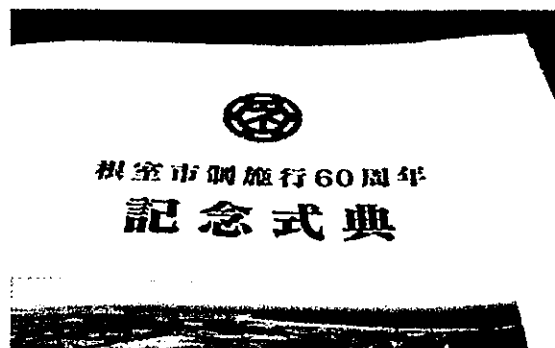
8月1日

時間	内容	詳細
10:00	根室市記念式典	根室市市制施行 60 周年記念式典に姉妹都市議員として参加
16:00	石狩市視察	こども未来館（あいぽーと）と隣に併設されている、石狩市民図書館を視察

根室市 市制施行 60 周年記念式典



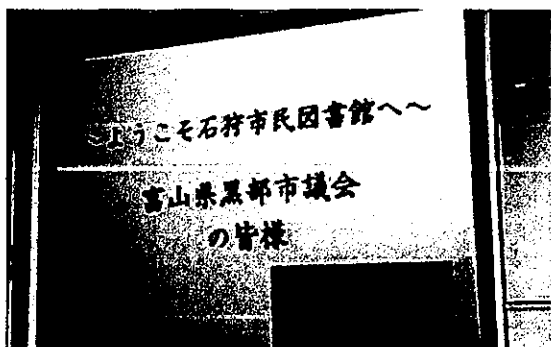
根室市総合文化会館にて



市政施行 60 周年記念式典

8月1日に開催された、姉妹都市の根室市市制施行 60 周年記念式典に姉妹都市議員として出席した。

石狩市 図書館と子育て支援施設の連携



石狩市民図書館

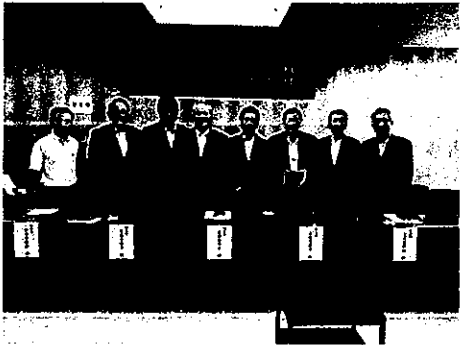



こども未来館 あいぽーと

石狩市は、市民図書館の隣に児童館を新設し、児童センターとして「こども未来館あいぽーと」を新設された。市民図書館は、平成 11 年 12 月竣工（平成 5 年 11 月に図書館開設準備室設置、平成 6 年 8 月～平成 9 年 3 月計画策定）。あいぽーとは、0 歳から 18 歳までの児童館、また、登録制の放課後児童会を設置している。直営図書館としてボランティアも多数参加していることが特徴で伊万里市立図書館がモデルだと説明を受けた。また、「こども未来館」と合わせて、子供たちの居場所づくりを形成している。特に、放課後児童クラブを運営していることは大きな特徴であった。

8月2日

時間	内容	詳細
10:00	夕張市議会	夕張の財政再建と地域再生への取組

夕張市 夕張の財政再建と地域再生への取組	
 <p>夕張市議会 会議室</p>	 <p>夕張の財政再建と 地域再生への取組み (相察資料)</p> <p>夕張市議会 意見交換</p>
<p>平成18年6月20日に財政再建を表明し、平成19年3月6日に財政再建計画が総務大臣同意。経過説明や要員などについて説明を受けた。要因としては、炭鉱廃坑からの人口減少、過大な施設投資、行政体制の効率化の遅れ、不正な財務会計処理により財政再建団体となる。説明からは、当時の総務省や北海道庁からの指導官との対応など当事者ならではの話を聞いた。平成28年3月に第三者委員会から再生への提言をうけ、市税を標準課税に戻すことや、地域再生へのための投資的経費が認められ、再出発をされた。</p> <p>また、通常の行政視察については、対応することが困難なことから年間数回に限定されているが、今回は行政サイドではなく、議会サイドが視察を受けることを条件に視察を受け入れて頂いた。そのため、説明員は当局職員ではなく、議長など議員と議会事務局が担当をされた。</p>	

総括

釧路では、図書館の在り方について先行事例を視察できた。民間ビルに入居するにあたり、市民への説明方法（説明会の開催）や費用分析、駐車場の在り方など非常に参考となった。また、説明にあたられた議会事務局職員が、入居当時の図書館担当者ということで、当時の話を聞くことが出来た。大きな成果として、図書館が市民にとって、どのような役割を果たすのか、シンボルとしての役割はなど、検討する材料を視察できた。

石狩では、子育て施設と図書館の併設を視察した。図書館の副館長（担当者）が非常に積極的に建設や運営に関与しておられ、改めてマンパワーの重要性を感じるこ

となった。子育て施設では、児童が自らルールを決めることを行っており、自主運営の大切さを感じることができた。同一館ではなく、併設であったため、運営コスト、併設のメリットなど非常に参考となった。

夕張では、財政について再認識させられた。財政破綻へのプロセス、時代環境については改めて知ることとなった。また、財政破綻時から、再考するまでの道のり、新市長の役割、そして夕張市議会の議員が当時の役所課長であったことなど、様々な話を聞くことが出来、収穫の多い視察となった。

成果

木島

夕張では、自治体の難しさを再認識させられた。破産団体となることで、通常の事業がストップされた、事例としては、学校教育は事業としてできたが、生涯教育はほぼ0ベース査定になったと聞いた。黒部市の現状におきかえると、破産団体となることはないが、各事業の成果や内容を絶えず見直し続ける姿勢が必要だと感じた。

石狩、釧路では、図書館について先進視察を行った。どちらも、地域の実情が深くあった。共通していたことは、住民説明会や住民参画を促していたことだった。建物ありきではなく、やはり機能や住民意識から事業化することが求められていると感じた。

辻

所管として、釧路では4万人程度の黒部市において賃貸入居は現実的でない、また費用や駐車場を考えると図書館は平屋が理想で、2階が限度と考えられる。

石狩では、図書館の隣に児童館を新設し、児童センターとして0歳から18歳までの児童館、登録制の放課後児童クラブを設置していた。併設のため運営コストなどメリットが大変参考となった。夕張では、当局も議会も必死となっている様子が伺えた。1例として交通安全への予算を削られたことで、事故が起きても仕方ないと思えることだった。黒部市でもこのような事態にならないように議会の役割を果たしていかなければならないと改めて強く感じた。

川上

北海道と本市との共通点は、車社会であった。釧路では、民間ビルに入居した図書館は、中心街、駅にも近いが、やはり利用者は車が中心。立地よりも、むしろ図書館としての機能をどう考えるかが重要だと感じた。図書館建設には補助制度がないため、知恵を絞り国や道の支援を取り付けておられた。資金調達は重要であるが、同等以上に図書館が果たす市民生活への役割を精査することが重要だと感じた。夕張では、特別に視察を受け入れて頂いた。新市長の下、復活にむけて鋭意努力されている様子が伺えた。新市長は、住民説明会を幾度も開催されているそうだ。本市と条件が異なるが、自治体運営の肝について視察することができた。

中村

1. 釧路図書館

民間のビルに入居する図書館として、市民への理解、費用分析、駐車場の在り方等参考となった。図書館が市民にとってどのような役割を果たすのか検討する材料として視察できた。

2. 石狩図書館

子育て施設と図書館が併設している。子育て施設では児童生徒の自主運営に感心した。併設であるから運営コストや併設のメリット等参考になった。

3. 夕張市

炭鉱の町から財政破綻への市のプロセス、また破綻から再興までの道のり、新市長の役割等、行政の財政について再認識させられた。

小柳

夕張市の財政破綻が最大の成果であった。財政破綻後、道や、財務省、総務省の関わり方、予算の組み換え、市民生活への影響など非常に参考となった。事例として、市民生活の生命に関わる事業以外は、まさに0裁定となることなど。黒部市と比較はできないが、財政破綻の恐ろしさを感じた。また、財政破綻後、市民の流出が止まないことなど、地方自治体の経営方法について参考となった。釧路、石狩では、図書館建設について視察した。両市ともに独自の工夫をされていたことは参考となった。図書館、子育て施設ともに、福祉施設&公共施設であることから、低コスト運営は求められるが、一方で利便性の確保は、コスト以上に大きい要素だと思う。黒部市の人口規模では、市民が関与していく運営体制が可能かと感じた。

参考様式第2号

調査研究活動記録票

会派名 新政会

活動名	四国西予ジオパーク研修及び名水サミット西予		使途 項目	・調査研究費
日 程	平成29年7月14日(金曜) ～ 平成28年7月16日(日曜)			
場 所 等	愛媛県 西予市周辺			
参加議員 人数・氏名	2人	川上浩 中村裕一		
目的・ 内容・ 成果	目的 四国西予ジオパークのジオサイト研修と地元ボランティアガイドの育成状況と全国名水サミット開催地の実施状況把握および次年度開催地となる黒部市への参加者の期待値把握			
	内容 別紙1 報告書 参照 別紙2 報告書 参照			
	内容 別紙1 報告書 参照 別紙2 報告書 参照			

参考様式第2号

経費内訳

単位：円

整理 番号	月日	支 出 内 容	金 額
1-5-1	7/14	交通費 飛行機	119,540円 /
1-5-2	7/14	交通費 ガソリン代	1,569円 /
1-5-3	7/14	交通費 レンタカー 高速代	10,409円 /
1-5-4	7/14	ジオガイド代	2,500円 /
1-5-5	7/14	宿泊費 松山市	21,940円 /
1-5-6	7/15	交通費 JR運賃 タクシー	10,840円 /
1-5-7	7/15	参加費 名水サミット参加費	10,000円 /
1-5-8	7/16	宿泊費 松山市内	24,600円 /
1-5-9	7/16	交通費 モノレール	980円 /
1-5-10	7/16	交通費 JR運賃	23,720円 /
	合計		226,098円 /

別紙1

視察・研修報告書

会派名 新政会

視察・研修名	四国西予ジオパーク及びジオサイト
日 程	7月14日
場 所	愛媛県西予市まちづくり推進室、ジオサイト（観音水、桂川渓谷）
参 加 者	中村裕一、川上 浩
目 的	四国西予ジオパーク（日本ジオパーク）の取り組みとジオサイトにおける地元ボランティアの養成状況を研修するため
内 容	<p>1、四国西予ジオパークについて まちづくり推進室 土井さん、山下さん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国西予ジオパークは、海拔0mから1400mの標高差の中で、地質や地形、歴史、文化、生態系など多くの地域資源が存在。西予市が持つ魅力を最大限に引き出すことができる仕組みがジオパークであると位置付けている。 ・市民が地域への誇りや愛着を醸成しながら地域活性化を図るとともに、社会的、経済的、文化的に持続可能な発展を目指すとしている。 ・そのために行政、関係機関、市民団体などが連携してジオパーク事業及び活動を推進する「四国西予ジオパーク推進協議会」を立ち上げている。 ・このジオパークへの取り組みは、前市長が平成16年4月1日に合併後、一体感の醸成を図ることに苦慮し、観光産業も乏しい中で考え出したもの。 ・ジオサイトの調査を行う「保全部会」小中高の学習資料を作成する「教育部会」ツアーの見直しを行う「観光部会」認定ブランドを創設する「物産部会」の4部改正を設け活動強化を図る。特に認定ブランドの「おぐちアジ」は築地においても高級ブランドとして、kg3000円の高値で取引されることもあるとのこと。認定ブランドは、年2回の審査会があり、認定期間は3年間でPR助成金の交付が受けられる。 <p>(成果・感想)川上</p> <p>事務局は、市長直属の機関として位置付けられているが、5人体制とは言うものの専門職員は山下さんのみで、兼務職、臨時職員で対応している。今年は更新認定の年で活動の見直しなど協議会の活動強化にも取り組んでいる。土居さんの感想として、市役所で事務局を持ち続けることは、人事面の問題もあり如何かと感じているとのこと。そういう面では立山黒部は優位性もあるのではと考えるが、いずれにしても事務局体制は大きな課題である。</p>

(成果・感想)中村

平成 25 年西予市全域が四国西予ジオパークとして認定されている。標高差 1,400m の海、里、山の原風景を残しており人と自然が共生している。西予市ではジオへの取り組みの組織もしっかりとして市あげての意気込みが、ガイドの話からもよく理解された。

黒部市の場合、3,000m 級の山から水深 1,000m の富山湾と規模は大きいですが、いくつもの自治体があり、市民への関心も低いと思われる。

2、ジオサイト研修**①ジオサイト研修 名水百選 観音水 地元ボランティアガイド古窪さん**

標高 315m、石灰岩が浸食されてできた鍾乳洞と、ここから湧出するカルスト湧泉を指す。鍾乳洞の全容はわかっていない。昭和60年環境庁全国名水百選に選ばれ日量平均 8千トン、水質は弱アルカリ硬水、年間水温 14 度に保たれる。アメノウオの養殖や夏場には、そうめん流し「名水亭」が営業される。石灰岩体からは浮遊性二枚貝や、メガドロン化石が発見されており、三畳紀のものであることが判明しているとのこと。

(成果・感想) 川上

年間通して流れ出る日量 8000トンの名水百選の観音水は、下流地域の田を潤し、水道水、生活用水として利用され多くの流域民を潤している。散策路はクーラーが効いているように心地よく感じたが、湧出口まで上り詰めた頃には、すっかり汗だくとなっていた。四国といえば夏場の水不足を想像してしまうが、この流域には無縁のようである。ガイドの古窪さんの丁寧で、流域民として心のこもった話に説明が心に響くものがあった。

(成果・感想)中村

観音水は鍾乳洞の口から湧き出し、古くから神仏の水として崇められている。下流の田畑、飲料、生活用水として、また、特異な和紙づくりや生物、植物の保存などシンボジュームの話で体験が話され、改めて水の恵みを感じさせられた。

②ジオサイト研修 野村地区の河岸段丘と桂川渓谷 ガイド歴 2 年の古賀さん

野村地区は 4 層から成る肘川沿いの河岸段丘で用水が引かれるまでは、桑畑が広がり、養蚕業が盛んであった。その生糸は伊予糸として伊勢神宮式占遷宮にも献上されている。また酪農も盛んで、ミルクとシルクの町としてテーマ館を設けている。肘川の源流は四国西予ジオパークを代表するチャートで構成されておりゴツゴツした岩がある。谷に臨む急な崖は高さ 60m、谷幅の狭いところは 3m。一帯には岩壁や滝、奇岩が連なり、かつて乙御前という姫神を投げたという悲話も残っている。植生的にはシダ類コケ類が多い。

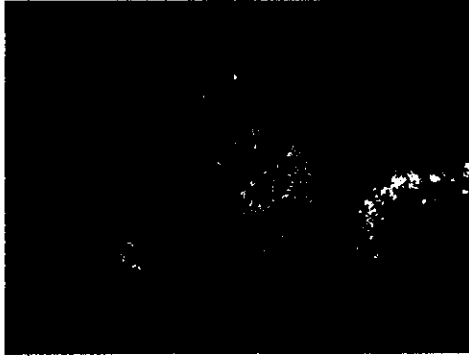
(成果・感想) 川上

チャート岩がそそり立つ中滝の周辺は、上部から降り注ぐ水のシャワーが差し込む光に輝いて涼しさもさることながら、水中の泡の中にいるかと思わせるような不思議な感じを抱かせた。ガイドの古賀は、大変植生に詳しく自生する植物をユーモアを織り込み語られていたのか印象的であり、古賀さん、古窪さんそれぞれの持ち味のあるガイドさんであった。ジオサイトの地元で要請されているボランティアガイドさんの案内は、手作り感と生活に結びついた説明も織り交ぜてあり、それぞれのサイトなりの印象として

残った。画一的でないガイド育成が来訪者に好印象を与えるのではないか。

(成果・感想)中村

現地見学はガイドをお願いして済ませたが、サミットの日程の中に現地視察は是非必要と思う。参加者の各地域の名水の由来、環境、水質等異なるから、現地視察はサミットとして重要な意味をもっていると思う。



視察・研修報告書

会派名 新政会

視察・研修名	第31回全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会 名水サミット IN 西予 「水と大地のたからもの」 多様な自然と生き物たちと共に
日 程	7月15日
場 所	愛媛県西予市 愛媛県歴史文化博物館
参 加 者	中村裕一、川上 浩
目 的	全国名水サミット開催地の実施状況把握と次年度開催地となる黒部市への参加者の期待度把握
内 容	<p>第31回全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会 愛媛県歴史文化博物館 名水サミット in 西予「水と大地のたからもの」 多様な自然と生き物たちと共に 7/15 11:00 全国大会 西予市菅家市長あいさつ 175市町村がメンバー 24年ぶりの愛媛県大会となった。 西予市はh16.4五市町村が合併 h25日本ジオパーク認定</p> <p>協議事項 1.開催地について 27回大会よりブロックローテーションを取りやめ h30黒部市 h31鹿児島市 2.H30度以降の幹事の選任 30西予市、鹿児島市 31黒部市、32鹿児島市</p> <p>13:00～17:00 シンポジウム 開会のあいさつ 三重県志摩市 竹内千尋市長 昨年開催のお礼 水とともに生きる あいさつ 西予市長 菅家一夫氏 多様性に富んだ気候 多様な食文化 未来に輝ける西予市 今年国体開催 相撲、ソフトボール 自然と共生する環境を次世代につなぐ 環境大臣祝辞 江口大臣官房審議官 水環境保全整備の状況 名水百選カードの作成利用を 愛媛県知事 副知事原 昌史氏 21世紀は水の世紀 名水百選 観音水について 名水亭 佐藤信雄氏 水路を張り巡らせ、農業用水や生活、防火、水道水としても利用している。 地元老人クラブが夏場そうめん流しに利用。保全には地域全体で当たっている。 観音水を活用した地域づくり 明間(あかんま)地域づくり会 兵頭邦浩氏 著しい人口減少 小学校跡地に明間小学校閉校記念モニュメント、観音水を利用</p>

し小水力発電、からくりの里事業を実施

観音水来訪者 5~9月 は 30000 人 それ以外は 20000 人 来訪者増加策へ
そば、ワサビの里 6次産業化、観光イベントへ結びつけている。

名水を使った和紙づくり

「りくう」代表 佐藤友佳理氏 世界的で活躍する和紙デザイナー

観音水で和紙を漉く

大きいサイズの木枠に糸を張りで漉く ゼオライトのついたコウゾで漉く匂いを吸着する。光が木漏れ日のように入り込むような和紙作品は他作家や建築家とのコラボレーションによるもの

明間の自然の中でインスピレーションを得る。明間の自然を次世代につなぎたい。

(成果・感想) 川上

和紙を漉くというよりは、光を取り込む造形作品のようである。国内外で有名建築家やデザイナーとのコラボにより、建築物の中で、新しい光の空間を作り出しているような作品であり、すでにイギリス、ドイツなどで発表されており、世界への発信力を感じた。

名水とトゥギャザーしようぜ

環境省「いきもの応援団・生物多様性リーダー」ルー大柴

ハイチ、南スーダンなど海外の水事情を紹介。日本ほど水のきれいで清潔な国はない。人に欠かせないおいしい水を孫の代まで守りたい。と今後の活動を宣言していた。

パネルディスカッション

大本歴史文化博物館学芸員が周辺の地質学、歴史文化の変遷について紹介

愛媛大学 三宅洋准教授 (コーディネーター)

水の恵 水がくれるもの 水がしてくれること 水が潤す心

水の恵

子供の頃の体験が水の恵を享受することにつながる

水がなくなって初めて大切さを知る

水の恐ろしさ

ため池決壊による浸水予測 ハザードマップ

南海トラフ地震の発生 津波の心配

名水サミットの意義は、水の恵、水の恐ろしさを語り合う意味においても、益々高まっていくことになる。

宇和コウノトリ保存会 会長 楠さん

ナベツル、コウノトリが飛来。環境整備に保存会があたっている。

(成果・感想) 川上

水の大切や畏敬の念というのは、名水の里にあっては共通のものであると感じた。今大会は地元的生活、歴史、文化に密着した発表が多く手作り感があった。

黒部市の名水と西予市の名水の違いを考えると

名水百選に選ばれている観音水は、鍾乳洞の口から湧出し、視覚的にも明らかに出所が確認できる。したがって名称も「観音水」と明確なブランド名が付いている。

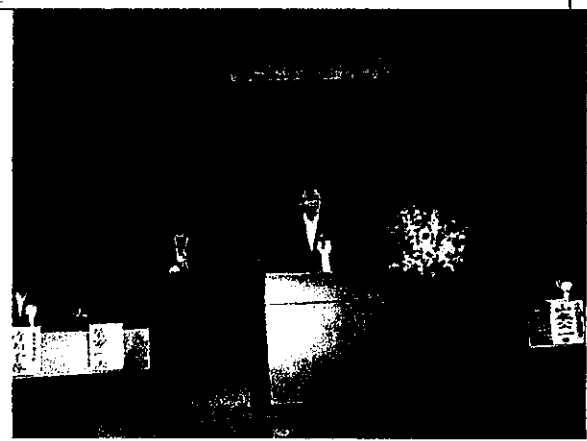
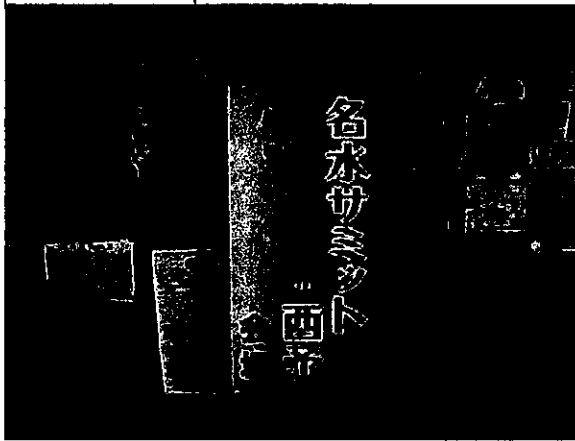
黒部の名水は、扇状地全体に湧出するものを指しており(黒部川扇状地湧水群)、「生地の清水」と呼称するものはあるが、意識として黒部川源流から流れ出る河川表流水、温泉、清水を総じて「黒部の名水」と考えているところもあり、私たちの考え方の整理が必要ではないか。(黒部川扇状地湧水群の指定箇所としては、「清水の里」「生地の共同洗い場」「杉沢の沢杉」とのこと)

黒部市が来年第32回名水サミット開催地に選ばれ、シンポジウムを締めくくる挨拶として黒部市長が登壇し、多くの方々の来訪依頼し、あわせて宇奈月温泉での開催を約束し会を締めくくった。

「黒部」「宇奈月温泉」の知名度は高く、次年度開催地として「新幹線、宇奈月温泉もあり、ぜひ参加したい」との声が多く聞かれ、近年参加関係者が伸びない中であるが、期待できるものとなるのではないか。

(成果・感想)中村

黒部の名水には欠くことができないのは、3,000m級の高い山峡から85km流れる黒部川の存在は欠かせない。資料展示や講演などで、黒部川の歴史、水力発電の開発、宇奈月温泉などについて参加者へ浸透を図る好機と思う。



参考様式第2号

調査研究活動記録票

会派名 新政会

活動名	東京視察	使途 項目	・調査研究費 ・研修費
日程	平成29年11月30日(木曜) ~ 平成29年12月1日(金曜)		
場所等	東京都 千代田区		
参加議員 人数・氏名	5人	木島信秋、辻泰久、川上浩、中村裕一、小柳勇人	
目的・ 内容・ 成果	目的 国交省、農水省への陳情及び事業説明、内閣府からの説明 北方領土問題に対して、全国アピール行動参加と国会議員への要請活動		
	内容 国交省 水管理・国土保全局 海岸室 農水省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課 内閣府 北方対策本部 国会議員事務所、等 詳細は別紙参照		
	成果 別紙参照		

参考様式第2号

経費内訳

単位：円

整理 番号	月日	支出内容	金額
1-7-1	11/30	交通費 黒部宇奈月温泉～東京 往復	97,520円 /
1-7-2	11/30	宿泊費 東京 アパホテル	65,500円 /
1-7-3	11/30	移動費 タクシー代	13,510円 /
1-7-4	12/01	移動費 タクシー代	3,150円 /
1-7-5	12/01	移動費 地下鉄	680円 /
1-7-6	12/01	移動費 JR	880円 /
1-7-7	11/29	土産代	10,800円 /
	合計		192,040円 /

平成 29 年度 東京 視察 報告

目的： 内閣府にて北方対策本部の取組のブリーフィング
 国会議員へ北方領土返還要求運動の陳情
 北方領土返還要求運動中央アピール行動への参加
 国交省において黒部川海岸護岸対策の陳情
 農水省において都市農村交流促進の陳情

実施日： 平成 29 年 11 月 30 日 ～ 平成 29 年 12 月 1 日

参加者： 川上浩、辻泰久、木島信秋、小柳勇人、中村裕一 以上 5 名

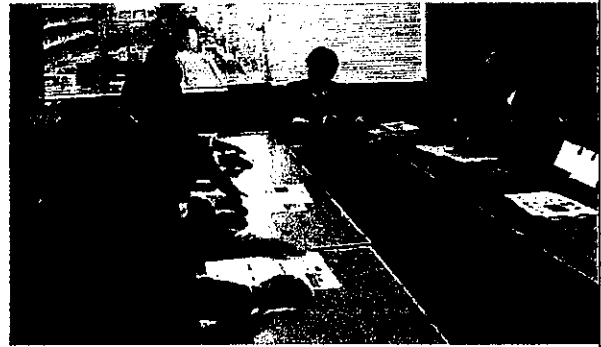
11 月 30 日

時間	内容	詳細
11:00	国土交通省	水管理・国土保全局 海岸室
13:30	農林水産省	農村振興局 農村政策部 都市農村交流課
16:00	内閣府	北方対策本部

省庁 要望活動



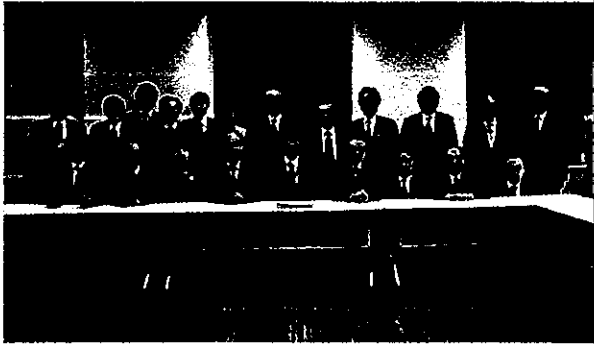
国土交通省 海岸室



農林水産省 会議室


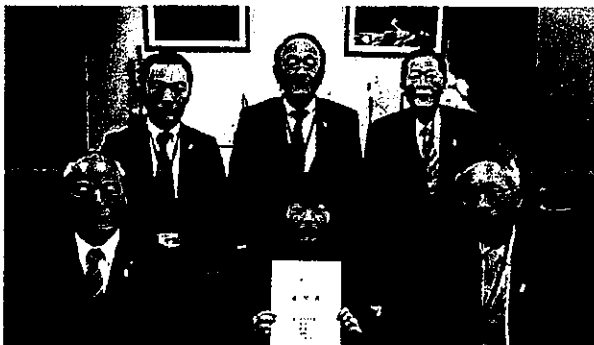
国交省では、生地海岸で設置した護岸設備について、台風 21 号における効果の説明を受けた。平成 20 年 2 月の高波発生時より台風 21 号は高波であったが、被害が発生することなく護岸設備の効果を確認できた。

農水省では、都市農村交流について課長補佐から今後の法整備への考え方など説明を受けた、その後に黒部市における都市農村交流や農業振興について意見交換を行った。

内閣府 北方対策本部	
	
内閣府 齋藤 馨 参事官	説明の様子
<p>内閣で、魚津市議会と黒部市議会合同にて、北方対策担当参事官より、「北方領土問題の最近の動きと内閣府北方対策本部の取組」と題して、昨年の山本審議に引き続き、1年間の経過やロシアとの交渉状況、航空機基参など支援策について説明を受けた。その後に、意見交換を行い、齋藤参事官より一度訪問して黒部市の取組状況を直接見分したいとの発言もあった。</p>	

12月1日

時間	内容	詳細
10:00	北方領土返還要求 中央アピール行動	根室市を含む1市4町が中心として行う、アピール行動に参加
13:00	国会議員へ陳情	富山県選出および、根室市に関係する国会議員へ北方領土返還要求運動について陳情

北方領土返還要求運動	
	
中央アピール行動 出発式	鈴木貴子衆議院へ直接陳情
<p>中央アピール行動に参加し、啓蒙活動を推進するとともに、関係国会議員へ陳情活動を行った。陳情は、黒部市議会の4会派で分担し、新政会としては、衆議院第一議員会館の橘慶一郎、鈴木貴子、伊東良孝の3氏へ陳情を行った。</p>	

総括

省庁訪問では、黒部市の関係の深い事業について直接担当官と面会し説明を受けることができた。国交省、農水省ともに、黒部の実情を説明する共に意見交換を行った。担当官からは、それぞれ国と地方の役割に関して、また今後の視線策について考え方を聞くことができた。本省の担当官と直接面会できたことは成果であり、今後は出先機関と連携を深めたい。

北方領土返還要求運動は、内閣府より現状、国の取組、今後の方針について説明を受けることができた。特に、航空機を活用した訪問や、根室市を中心とする根室管轄での就学旅行誘致などについて今後の動向が聞けた。

また、黒部市にある北方の館など、本土にある啓蒙・PR施設にあり方について意見交換できたことは大きな成果の1つとなった。今年も、黒部市議会（4会派合同）と魚津市議会の有志が、内閣府北方対策本部と連携を継続していることは大きな役割を担えると期待したい。

国会議員への陳情では、北海道選出の鈴木貴子氏と率直な意見交換ができた。引揚者の高齢化が進むなか、墓参などへの支援策や、返還要求運動の後継者問題について共通の課題を議論することができた。

成果

木島

北方対策について見識を深めることが出来た。ロシアと日本の関係であるが、黒部市にとっては、先祖の問題そのものと感じている。引揚者がいた歴史、それ以前に開拓した歴史を忘れてはいけないと再認識もさせられた。黒部において、次の世代にしっかりと引き継ぐことは重要課題。各省庁では、黒部の実情に即した陳情と情報収集をすることができた。個別の部屋で担当官より資料提供や情報提供をして頂き、黒部において実践していきたい。

辻

黒部事務所の所長であった藤田企画官と面会し地元の事情をよく理解されているので陳情もスムーズに対応して頂いた。金作課長補佐は、黒部市への2年間の出向経験があり黒部市と千代田区などとの都市農村交流の事柄も理解されており、助言を頂いた。また、内閣府で黒部市議会と魚津市議会と合同で齋藤審議官より「北方領路問題の最近の動きと北方対策本部の取組」について説明して頂いた。

川上

藤田企画官からは、海岸清掃における国の関与について具体的なアドバイスを頂いた。送料1000トンとすることなど黒部川河川事務所と相談したい。農水省では、中山間地における農地保存や農業振興について陳情をし、また新たな制度について情

報収集することができた。少人数で国の担当官と会うことは、やはり成果が多い。特に既に顔見知りの関係であれば、信頼関係があることから、スムーズにお互いの意図を感じることでよかった。

中村

市と深い事業について、国交省と農水省の担当官と面会し、意見交換ができた。国と地方との役割や今後の施策などについて聞くことができ、今後とも出先機関との連携を深めたい。北方領土返還要求運動について内閣府より国の取り組みや今後の方針について説明を聞く。黒部市の北方の館など市民の啓蒙、PR等意見交換をし、内閣府北方対策本部との連携は大きな役割を担っていることを痛感した。国会議員陳情では、北海道選出鈴木貴子氏と引揚者高齢化の進む中、墓参や返還要求への次代後継者について意見交換をする。

小柳

平成28年度の安倍プーチン会談以降、北方領土対策について知ることができた。引揚者が多い黒部市として、共同開発や飛行機での墓参など最新情報を国の担当官より直接聞いたことは収穫であった。また、各省庁で黒部市と関係の深い担当官から、海岸清掃の国負担の申請方法、都市農村交流の方向性など、今後の参考になる情報を聞くことが出来た。特に、定期的に交流することで、本市の目指す施策と国事業のマッチングに関しては非常に有益だと再確認することができた。

参考様式第2号

調査研究活動記録票

会派名 新政会

活動名	東京視察	使途 項目	・調査研究費 ・研修費
日 程	平成30年2月8日(木曜) ~ 平成30年2月9日(金曜)		
場 所 等	神奈川県横浜市 東京都千代田区		
参加議員 人数・氏名	4人	木島信秋、辻泰久、中村裕一、小柳勇人	
目的・ 内容・ 成果	目的 自治体議会政策学会 研修会 参加 来年度予算調査(働き方改革、地方創生)		
	内容 自治体議会政策学会 横浜市研修会 国会議員事務所、等 詳細は別紙参照		
	成果 別紙参照		

参考様式第2号

経費内訳

単位:円

整理 番号	月日	支 出 内 容	金 額
1-9-1	2/8	交通費 黒部宇奈月温泉~東京 往復	77,520円 /
1-9-2	2/8	宿泊費 東京 ホテルグランドパレス	52,400円 /
1-9-3	2/8	移動費 タクシー代 8日	3,240円 /
1-9-4	2/9	移動費 タクシー代 9日	2,580円 /
1-9-5	2/8	研修費 自治体議会政策学会	80,000円 /
1-9-6	2/8	土産代	5,340円 /
	合計		221,080円 /

平成 29 年度 東京 視察 報告

目的：自治体議会政策学会 研修

国会議員へ平成30年度予算概要の情報収集

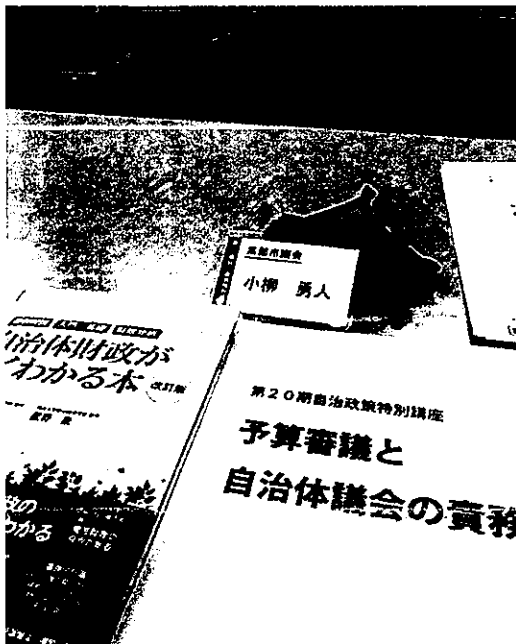
実施日：平成30年2月8日 ～ 平成30年2月9日

参加者：辻泰久、木島信秋、小柳勇人、中村裕一 以上4名

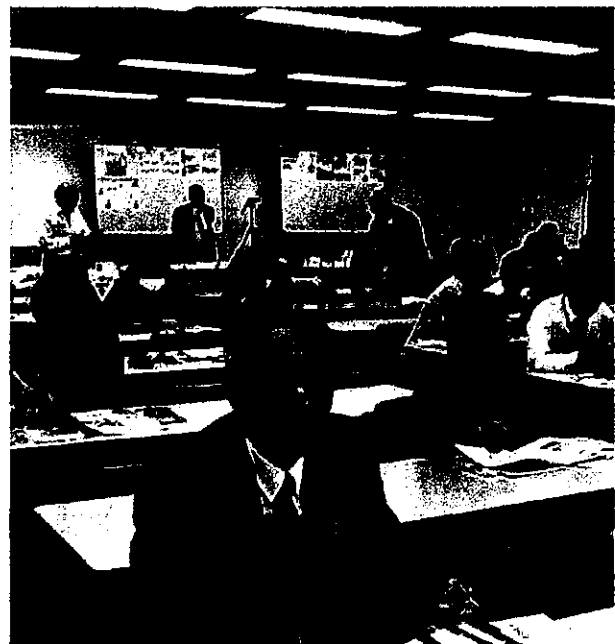
2月8日

時間	内容	詳細
13:00	研修	自治体議会 政策学会 研修

自治体議会 政策学会 研修



研修資料



研修風景

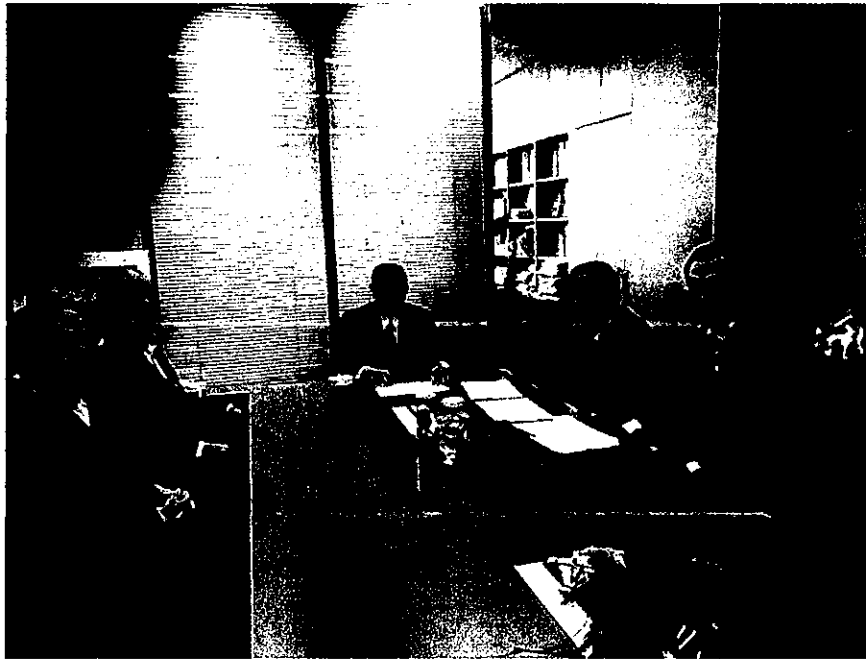
横浜市にて、研修を受講。星野泉明治大学教授による国の地方財政改革の議論が進んでいる。先が見通しにくい現状の中、基本となる自治体財政の見方と来年度の予算審議における財政分析のポイントについての講義を受講。

特に、人口減少、少子化、高齢化が進むなかで、国の地方財政の取り組み方や方向性については、大変有意義な講義であった。次年度の予算審議において、最新の情報を基に、本市の財政状況について議論を深める知識を習得することができた。

2月9日

時 間	内 容	詳 細
10:00	衆議院第二議員会館	宮腰事務所について、次年度予算概要についてレクチャーを受ける

国会議員 宮腰事務所 次年度予算概要について



宮腰代議士より次年度予算概要について説明を受ける

衆議院第二議員会館の宮腰事務所において、次年度である平成30年度の予算概要と注目事業についてレクチャーを受けた。特に、県を介さない、地方直接の補助メニューや促進事業については、その条件や目的など知ることが出来た。また、宮腰代議士および松倉秘書官から、国道8号バイパス整備、北陸新幹線着工状況について聞くことができた。

総括

自治体議会政策学会では、実践的な講義を聴くことが出来た。地方交付税における基準財政需要額の制度改正や地方財政計画、臨時財政対策債の傾向など、人口動態変更による減収、地方財政計画の全体像、臨時財政対策債が起債額=償還額となっていることなどは特に注目できることであった。

平成30年度予算概要については、審議中であるが、実質12月の決定から各事業の内容が見えてきているので多角的な情報収集ができた。しかしながら、新規事業や県や地方局を通さない直接的な補助メニューについては、その概要が依然として未定であり、今後の情報収集が肝要だと感じた。

成果

木島

研修会では、講師より学問でなく実践的な講義をうけることができた。特に臨時財政対策債や交付税については、3月の予算議会で活用したい。人口減少については、現在過度期と感じているが、実際の影響が発生するのはこれからだと拝聴した。黒部市において、どのような影響が生じるのか、じっくりと検証する必要性を強く感じた。また、来年度予算については、国交省の道路、新幹線。環境省の山岳環境について情報収集することができた。

辻

人口減少による減収、地方財政計画の全体像、臨時財政対策債が起債額=償還額になっていることなど星野明治大学教授による実践的な講義を聴くことが出来た。また、宮腰代議員からは、国道8号バイパス整備や北陸新幹線着工状況について聞くことが出来た。

中村

自治体議会政策学会で実践的な講義を聴く。地方交付税における基準財政需要額の制度改正や地方財政計画、臨時財政対策債の傾向など、人口減少による減収に関することなどについて注目できる講義であった。平成30年度予算概要については審議中であるが、12月から取り組まれているので各事業内容が多角的に収集できた。しかし、新規事業や県、地方局を通さない事業については未定である。

小柳

初日の研修は、地方議会にとって有意義であった。日本全体の傾向により地方財政計画が決まる、その背景や国の税收構造の変化の説明があった。特に、地方交付税の特徴の変化や、エキスパート方式の導入状況、基準財政需要額の係数変化など、今後の財政見通しを議論するうえで重要な分野だと感じた。黒部市にあわせると、次年度から第二次総合振興計画がはじまるので、これの財源見通しについて検証することの重要性を強く感じた。

参考様式第2号

調査研究活動記録票

会派名 新政会

活動名	東京 宇奈月会 参加	使途 項目	・調査研究費
日程	平成29年5月27日(土曜) ~ 平成29年5月27日(土曜)		
場所等	東京都 港区 芝パークホテル		
参加議員 人数・氏名	1人	小柳 勇人	
目的・ 内容・ 成果	目的 東京宇奈月会(郷里会)へ参加し、黒部市の現状を報告すること。また、郷里会の方々へふるさと納税や郷土への支援をお願いすること。さらに、直接お会いすることで、東京における黒部市のイメージや北陸新幹線活用法などお聞きし調査研究に充てること。		
	内容 平成29年5月27日 芝パークホテルにて開催された「東京宇奈月会総会」へ参加すること 詳細は別紙の案内状参照		
	成果 東京宇奈月会の橋本会長をはじめ、多くの方々と面談できた。その中で、「ふるさと納税」について理解を求めるとともに、様々な事柄について意見交換をすることができた。特に、全国植樹祭のことや、中学校の統廃合など郷土の現況について話題が多かった。参加者の高齢化が進み、若い世代への入会及び参加声かけや、大学生として上京する学生へのアクションなどが今後の大きな課題だと認識することができた。		

参考様式第2号

経費内訳

単位：円

整理 番号	月日	支出内容	金額
	5/23	交通費 黒部宇奈月温泉～東京 往復	23,720円 /
	合計		23,720円 /

2017年4月吉日

黒部市議会事務局 御中

東京宇奈月会
会長 橋本 博司

東京宇奈月会総会のご案内

拝啓 春陽の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は私ども東京宇奈月会の運営に対し、ご理解とご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

お陰様をもちまして、本年も東京宇奈月会の定例総会を下記のとおり開催するはこびとなりました。

ご来賓の皆様方から故郷の様子を拝聴できるものと、会員一同心よりお待ち申し上げます次第でございます。

公私にご多忙のところ恐縮ではございますが、ご来臨の栄を賜わりたく、謹んでご案内申し上げます。

敬具

記

- | | | | |
|------|---|--|------|
| 1. 日 | 時 | 2017年5月27日(土) | |
| | | 午前11時より開会(受付開始:午前10時30分より) | |
| 2. 場 | 所 | 芝パークホテル 別館2階 『ローズ』
東京都港区芝公園1丁目5番地10号
電話 03-3433-4141 | |
| 3. 交 | 通 | 都営地下鉄三田線・御成門駅 A2 出口 | 徒歩2分 |
| | | 都営地下鉄浅草線・大門駅 A6 出口 | 徒歩4分 |
| | | 都営地下鉄大江戸線・大門駅 A6 出口 | 徒歩4分 |
| | | JR・モノレール浜松町駅北口 | 徒歩8分 |

以上

平成29年5月27日

第38回 東京宇奈月会総会次第

第1部 定例総会

- | | | |
|--|------------------------------|----------------------------|
| | (司会)理事 | 中野 健一 |
| 1. 開会宣言 | 副会長 | 中本 剛司 |
| 2. 物故者への黙祷 | | 司会 |
| 3. 会長挨拶 | 会長 | 橋本 博司 |
| 4. ご来賓のご紹介 | | 司会 |
| 5. 平成28年度行事報告並びに会計報告
平成29年度行事計画並びに予算案 | | 事務局 |
| 6. 平成28年度会計監査報告 | 会計監事 | 佐々木 甚次 |
| 7. 平成28年度決算並びに平成29年度予算審議 | | 司会 |
| 8. 役員改選について | | 会長 |
| 9. ご来賓祝辞 | 黒部市教育長
黒部市議会議員
黒部市議会議員 | 国香 正稔様
川上 浩 様
小柳 勇人様 |
| 10. ふるさとだより | | |
| ・ふるさと黒部サポート寄付
感謝状、記念品贈呈 (橋本 博司) | | 岩上 勝彦様 |
| ・黒部市からのご案内 | | |
| 11. 「SPA マラソン in うなづき」の報告

(集合写真 撮影) | 理事 | 朝倉 邦友 |

第2部 懇親会

- | | | |
|------------|------------------------------------|--------|
| | (司会) | 朝倉 邦友 |
| 1. 乾 杯 | (一社)黒部・宇奈月温泉観光局理事
宇奈月温泉自治振興会 会長 | 河田 稔 様 |
| 2. 懇 談 | | |
| 3. お土産品の抽選 | (抽選会司会)理事 | 高倉 保隆 |
| 4. 越中おわら節 | | |
| 5. 手締め | 副会長 | 澤田 大筈 |

ご 来 賓 紹 介

黒部市

黒部市教育長
会計管理者

国香 正稔 (くにか しょうねん) 様
岩上 勝彦 (いわかみ かつひこ) 様

黒部市議会

議 員
議 員

川上 浩 (かわかみ ひろし) 様
小柳 勇人 (こやなぎ はやと) 様

一般社団法人黒部・宇奈月温泉観光局 理事
宇奈月温泉自治振興会 会長

河田 稔 (かわた みのる) 様

東京富山県人会連合会
常 務 理 事

米屋 喜代夫 (よねや きよお) 様

内山自治振興会
会 長

竹山 繁夫 (たけやま しげお) 様

浦山自治振興会
会 長

澤田 正 (さわだ ただし) 様